

【テーマ3】 若者や女性などが活躍する産業人材づくり

めざす方向

- ◎「大阪産業人材育成戦略（推進期間：平成24年度から平成28年度）」に基づき、産業振興と一体となった人材育成・雇用拡大を推進します。
- ◎大阪産業の持続的発展を支えるための人材育成・雇用拡大を目指します。
- ◎働きたい人のスキルアップに取り組み、安定就労を目指します。

若者や女性などへの就業支援・中小企業の人材確保支援

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H29.3月末時点）>
<p>■ OSAKAしごとフィールド(*8)による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> OSAKAしごとフィールドを軸として、若者や女性などの就業力の向上を支援するとともに、中小企業の人材の採用から職場定着までの一貫した支援に取り組みます。 <p>■ OSAKAしごとフィールドに女性が働き・働き続けるためのワンストップ相談機能を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> OSAKAしごとフィールドに、女性や就業に関する府内の関係機関をネットワーク化し、必要な情報を必要な人に届けるワンストップ相談機能を構築します。 <p>■ 若者の安定就職や中小企業の人材確保支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者の安定就職を支援するとともに、東京圏からのUIターンなどにより、中小企業におけるプロフェッショナル人材や若年人材の確保支援に取り組めます。 さらに、移住促進フェアを開催するとともに、先駆的な就業体験プログラムを実施し、大阪へのUIターン就職につなげていきます。 	<p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p><OSAKAしごとフィールド運営事業> （数値目標） 就職者数 8,000人</p> <p><OSAKAしごとフィールド女性活躍推進事業> （定性的な目標） 各関係機関の相談支援機能の強化 （数値目標） ネットワーク参加支援機関数 10機関 各機関の担当者による情報交換会、研修会等の開催 年6回</p> <p>（数値目標） <若者安定就職応援事業> 金融機関と連携した合同企業説明会の実施：6回</p> <p><おおさかUIターン促進事業(*9)> 事業登録者数 1,000人</p>	<p><OSAKAしごとフィールド運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 就職者数 7,733人 <p><OSAKAしごとフィールド女性活躍推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報交換会や研修会を実施したほか、相互連携体制を強化するため合同相談会を開催するなど、各関係機関の相談支援機能を強化した。 ・ネットワーク参加支援機関数 13機関 ・各機関の担当者による情報交換会、研修会等の開催 8回開催 ・各機関合同の相談会開催 2回 <p><若者安定就職応援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関と連携した合同企業説明会の実施：9回 <p>※連携金融機関：りそなグループ、近畿産業信用組合、北おおさか信用金庫、池田泉州銀行、大阪厚生信用金庫、京都銀行、枚方信用金庫、大阪信用金庫、大阪シティ信用金庫、大阪商工信用金庫、永和信用金庫</p> <p><おおさかUIターン促進事業(*9)></p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京圏での民間転職イベントへの出展や企業との交流会を開催した。 ・事業登録者数 1,148人

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（H29.3月末時点）＞
<p>■ 若年女性無業者への経済的自立支援</p> <p>・「具体的な就職活動を行っていない」などの状態にある若年女性を就業に結びつけ、経済的な自立を支援する事業に取り組みます。</p> <p>■ 女性有資格者等への再就職支援</p> <p>・資格・経験を持ちながら、キャリアブランクのある女性が、保有資格のアップデートと併せて新たな知識を加えることで、中核人材として活躍することを支援します。</p> <p>■ 職業訓練による産業人材の育成・再就職支援</p> <p>・府立高等職業技術専門校において、ものづくり分野を中心とする産業人材育成の拠点化を進めるとともに、民間教育訓練機関を活用した訓練により求職者の再就職を支援します。</p>	<p>＜高度若年人材還流促進事業＞ 移住促進フェア開催数：2回 移住促進フェア来場者数：600名 就業体験プログラム参加者数：90人</p> <p>＜大阪府プロフェッショナル人材戦略拠点(*10)運営事業＞ 相談件数 200件 成約件数 20件</p> <p>＜若年女性経済的自立支援事業＞ (数値目標) ワークショップ等参加者数 1,000人 参加企業数 50社 就職者数 100人</p> <p>＜女性有資格者等復帰訓練事業（Lフェニックス拡充訓練）＞ (数値目標) 実習協力企業数 160社 就職者数 150人</p> <p>(数値目標) 技専校における訓練受講者数 2,700人</p>	<p>＜高度若年人材還流促進事業＞ ○近畿圏の自治体と連携した移住促進フェアを東京で開催するとともに、魅力的な府内中小企業・団体での就業体験プログラムを実施した。 ・移住促進フェア開催数：2回 ・移住促進フェア来場者数：764名 ・就業体験プログラム参加者数：98人</p> <p>＜大阪府プロフェッショナル人材戦略拠点(*10)運営事業＞ ○金融機関等と連携を図りながら企業へのプロ人材ニーズのヒアリングを行い、登録人材紹介会社を通じ、その採用をサポートした。 ・相談件数 315件 成約件数 84件</p> <p>＜若年女性経済的自立支援事業＞ ○「具体的な就職活動を行っていない」などの状態にある若年女性を支援する施設を設置し、働く意欲を喚起させるためのセミナーやワークショップを開催した。 ・ワークショップ等参加者数 1,082人 ・参加企業数 92社 ・就職者数 108人</p> <p>＜女性有資格者等復帰訓練事業（Lフェニックス拡充訓練）＞ ○一定の資格や経験を有する女性に新たな知識等を学ぶ機会を提供し、複合的なスキルをもった人材へと育成する「Lフェニックス拡充訓練」を4月から実施している。 ・実習協力企業数 917社 ・就職者数 117人</p> <p>・技専校における訓練受講者数 2,259人 うち 施設内訓練：856人 在職者訓練：1,403人</p>

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H29.3月末時点）>
<p>・産業振興と一体となった職業能力開発の方向性を示す基本計画を策定します。</p> <p>■ 大学と企業が連携した実践的キャリア教育の推進</p> <p>・学生の職業観の醸成や社会人基礎力の養成に効果のある、課題解決型学習（PBL）やインターンシップ、企業人による出前講座を産官学で一体となって取り組みます。</p>	<p>民間教育訓練機関を活用した訓練受講者数 4,300人</p> <p>(数値目標)</p> <p>実践的キャリア教育への協力 10大学</p>	<p>・民間教育訓練機関を活用した訓練受講者数 4,115人 うち 離職者等再就職訓練（母子家庭の母等含） ：3,512人 デュアルシステム訓練：603人</p> <p>▶ 実践的キャリア教育への協力 （PBL、インターンシップ、出前講座の実施大学数） 17大学（延べ21大学）</p>

自己評価

ほぼ達成

【部局長コメント（テーマ3 総評）】

<取組状況の点検>	<今後の取組みの方向性>
<p>■ 「若者や女性などへの就業支援・中小企業の人材確保支援」</p> <p>・当初の目標を、ほぼ達成することができました。</p> <p>・OASKAしごとフィールドを核として、若者や女性等求職者・企業双方のニーズに応じた就業支援を実施し、求職者の安定就業につながる取り組みを行いました。</p>	<p>■ 「若者や女性などへの就業支援・中小企業の人材確保支援」</p> <p>・リニューアルする OASKA しごとフィールドを活用し、国との連携を強化しながら、引き続き若者や女性等の安定就業につながる取組みを進めます。</p> <p>・特に建設、運輸、製造分野の業界等と連携し、職場環境の整備を図りながら、女性や若者への魅力発信と就職支援を行い、中小企業の人材確保を一層支援します。</p> <p>・各技専校において、地域関係機関との連携を強化し、特色ある訓練により求職者のスキルアップに取り組むとともに産業人材の育成を進めます。</p> <p>・民間教育訓練機関を活用した訓練により、求職者の再就職に取組みます。また、実践的キャリア教育を推進するために、大学と企業との連携強化を図ります。</p>